



2023年4月28日
沖縄電力株式会社

2022年度決算について

1. 販売の状況

2022年度の販売電力量は、電灯については、夏場の気温が前年に比べ高めに推移したことなどによる需要増があったものの、他事業者への契約切り替えによる需要減により、前年度を下回りました。電力については、新型コロナウイルスの影響からの回復や気温影響などによる需要増により、前年度を上回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年度に比べ0.6%増の70億73百万kWhとなりました。

2. 収支の状況

2022年度の収支の状況について、収入面では、電気事業において、燃料費調整制度の影響や他社販売電力料などの増加があり、売上高（営業収益）は前年度に比べ472億85百万円増（26.8%増）の2,235億17百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料価格高騰に伴う燃料費や他社購入電力料などの増加があり、営業費用は前年度に比べ985億2百万円増（56.8%増）の2,719億24百万円となりました。

電気事業において、燃料価格高騰に伴う費用増を電灯電力料に反映できていない部分があるため、営業損益は484億6百万円の損失、営業外損益を含めた経常損益は487億99百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は454億57百万円の損失となりました。

3. 連結業績予想

2023年度の電力需要は、前年度に比べ2.4%減の69億6百万kWhを見込んでいます。

2023年度の業績予想につきましては、電気料金の値上げ申請中であり、現時点においては売上高・利益ともに合理的な算定が困難であるため、「未定」としております。

今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

なお、2023年度の配当金予想額については、料金改定後の利益水準等を見通すことができていないことから、「未定」としております。今後、業績予想等を踏まえ、配当予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位:百万 kWh)

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,895	2,842	△53	△1.8%
電 力	4,138	4,231	+93	+2.3%
合 計	7,033	7,073	+40	+0.6%

■連結経営成績

(単位:百万円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	176,232	223,517	+47,285	+26.8%
営 業 利 益	2,810	△48,406	△51,216	—
経 常 利 益	2,717	△48,799	△51,517	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,959	△45,457	△47,416	—

■販売電力量見通し

(単位:百万 kWh)

	2022年度 (実績)	2023年度 (見通し)	増減	増減率
電 灯	2,842	2,643	△199	△7.0%
電 力	4,231	4,263	+32	+0.7%
合 計	7,073	6,906	△167	△2.4%

■連結業績予想

(単位:百万円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (見通し)	増減	増減率
売 上 高	223,517	未定	—	—
営 業 利 益	△48,406	未定	—	—
経 常 利 益	△48,799	未定	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△45,457	未定	—	—